

「ファビピラビル等の抗ウイルス薬が投与された COVID-19 患者の背景因子と治療効果の検討（後ろ向き観察研究）」に関係する患者さま、ご家族の皆様へ

当院では「ファビピラビル等の抗ウイルス薬が投与された COVID-19 患者の背景因子と治療効果の検討（後ろ向き観察研究）」との研究を行っています。新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による肺炎(COVID-19)が日本各地で発生していることが報告されています。COVID-19 に対する治療薬は確立されておらず、ファビピラビルなど他のウイルスに対して治療効果がある抗ウイルス薬、その他の抗ウイルス効果が示された薬剤が各医療施設の判断で治療に用いられています。

本研究では、日本各地の医療機関でファビピラビルなどの抗ウイルス薬やその他の抗ウイルス効果が示された薬剤が投与された COVID-19 患者の臨床情報を収集、分析することで各薬剤に COVID-19 に対する治療効果が見られるかどうかを検討することを目的としています。

〔調査の対象となる患者さま〕

2020年4月1日から2020年12月31日までの期間に、当院に入院され入院前または入院後の検査検体から SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）が検出された患者さまが対象となります。

〔調査方法〕

患者さまのカルテ等の記録をもとに臨床情報について調査いたします。本調査では、患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

〔患者さまのプライバシーに関して〕

プライバシー・個人情報 は 厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせください。また、この研究に協力することをご了解頂けない場合も以下までご連絡ください。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

臨床研究センター 感染症研究部

露口一成

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会 (IRB) における厳重な審査・承認をうけて実施しています。